

2023年5月4日開催:第38回6mAMコンテスト結果
 2024年5月4日予定:第39回6mAMコンテスト規約

DE JA3XQO

①2023年5月4日開催:第38回6mAMコンテスト結果

<< 50MHzの部 >>

* 上位入賞局 > エリア第一位

順位	CALLSIGN	送信機	得点	都府県	送信機	得点合計	交信終了
>* 1	JA3XQO	FT991A	25	6	17	575	13:53
>* 2	JA1CKQ/1	FT891M	24	6	17	552	13:08
* 3	JG3PCE/3	IC7300M	23	6	15	483	13:49
4	J03UZP/3	IC7300M	23	4	16	460	13:24
5	JA2KEW/3	IC705	15	4	7	165	11:01
6	JJ3FGK/3	IC706MK2S	16	3	7	160	13:54
> 7	JH4SMT/4	TS690S	11	5	7	132	11:29
8	JJ3OZR/3	FT991AM	10	4	7	110	13:05
> 9	JE5BNF/5	IC7100M	9	5	6	99	12:55
10	JN4PMO/4	IC706MK2GS	5	4	5	45	10:48
11	JJ3FDB/3	IC7000M	6	3	4	42	13:52
> 12	JF2NMY/2	自作	6	3	3	36	12:35
13	JA3PNB	IC7300M	5	3	4	35	13:38
14	JK1LXI	FT991A	4	3	4	28	11:05
15	JA3RAZ	IC7300M	3	2	3	15	13:51
16	JR3KGM	FT817ND	3	1	3	12	10:19
17	J111IF	IC7410	2	2	2	8	11:11
18	JG2VSF/2	IC706MK2G改	2	2	2	8	13:33
19	JE3VRJ	TS2000SX	2	1	2	6	10:32
20	JQ3DEF	FT818ND	2	1	2	6	11:06
21	JK1VUZ/1	FT817ND	2	2	2	6	12:43
22	JE3IFZ	FT817ND	2	1	2	6	13:33
23	JR3JSZ	TS60S	1	1	1	2	10:07
24	JH3FTZ	IC705	1	1	1	2	11:00

<< 430MHzの部 >>

* 上位入賞局 > エリア第一位

順位	CALLSIGN	送信機	得点	都府県	送信機	得点合計	交信終了
>* 1	JA3XQO	IC9700	20	5	7	240	10:17
>* 2	JN1FRL	IC9700	16	5	8	208	10:10
* 3	J03UZP/3	IC9700	19	3	6	171	09:47
4	JA1CKQ/1	FT817	8	3	4	56	09:31
5	JE3VRJ	TS2000SX	6	3	3	36	10:02
6	JK1LXI	FT991A	5	4	3	35	09:43

7	JA3PNB	IC9700	6	3	2	30	09:53
8	JJ30ZR/3	FT991AM	5	1	3	20	09:50
9	JR3JSZ	FT991AM	4	1	4	20	10:06
10	J111IF	IC9700	4	2	2	16	10:08

<< 144MHzの部 >>

* 上位入賞局 > エリア第一位

順位	CALLSIGN	送信機	得点	都府県	送信機	得点合計	交信終了
>* 1	JA3XQO	IC9700	19	5	9	266	14:51
* 2	J03UZP/3	IC9700	17	4	8	204	14:42
>* 3	JA1CKQ/1	FT817	5	3	4	35	14:46
4	JN1FRL	IC9700	5	3	3	30	14:36
5	JJ10ZR/3	IC9700	5	2	3	25	14:00
6	JA3PNB	IC9700	5	2	3	25	14:54
7	JJ3FDB/3	IC7000M	4	2	2	16	14:43
8	JE3VRJ	TS2000SX	3	2	1	9	14:05
9	JK1LXI	FT991A	2	1	2	6	13:38
10	JHOUTC/1	自作	2	1	1	4	14:46
11	JN3ANO	IC9700	2	1	1	4	14:51
12	JK1VUZ/1	FT817ND	1	1	1	2	13:39
13	JR3JSZ	FT991AM	1	1	1	2	13:41
14	J111IF	IC9700	1	1	1	2	13:46
15	JE1PHS	FT991AM	1	1	1	2	14:00

<< 28MHzの部 >>

* 上位入賞局 > エリア第一位

順位	CALLSIGN	送信機	得点	都府県	送信機	得点合計	交信終了
>* 1	JA3XQO	FT991A	11	3	6	99	11:52
>* 2	JA1CKQ/1	FT891M	5	2	5	35	11:03
3	J03UZP/3	IC7300M	5	2	3	25	11:30
4	JN1FRL	FTDX5000	3	2	3	15	11:05
5	JR3JSZ	FT991AM	1	1	1	2	10:38
6	JA3PNB	IC7300M	2	1	2	6	10:38
7	JJ30ZR/3	FT991AM	2	1	2	6	11:15
8	JE3VRJ	TS2000SX	2	1	2	6	11:54
9	JK1LXI	FT991A	1	1	1	2	10:44

<< 1200MHzの部 >>

* 上位入賞局 > エリア第一位

順位	CALLSIGN	送信機	得点	都府県	送信機	得点合計	交信終了
>* 1	JA3XQO	IC9700	8	3	2	40	12:29
2	J03UZP/3	IC9700	6	2	1	18	13:15
3	JJ30ZR/3	IC9700	3	1	2	9	12:28
4	JE3VRJ	TS2000SX	3	2	1	9	12:30
5	JA3PNB	IC9700	3	1	2	9	12:56
> 6	JK1VUZ/1	FT817+TRV	4	1	1	8	12:51

<< マルチバンドの部 >>

* 上位入賞局 > エリア第一位

順位	CALLSIGN	50MHz	430MHzX2	144MHzX2	28MHzX2	1200MHzX2	得点合計
>* 1	JA3XQO	575	480	532	198	80	1865
* 2	J03UZP/3	460	342	408	50	36	1296
>* 3	JA1CKQ/1	552	112	70	70		804
4	JJ3OZR/3	220	40	50	12	18	340
5	JA3PNB	70	60	50	12	18	210
6	JK1LXI	56	70	12	4		142
7	JE3VRJ	12	72	18	12	18	132
8	JN1FRL		30	60	30		120
9	JJ3FDB/3	84		32			116
10	JR3JSZ	4	40	4	4		52
11	J111IF	8	32	4			44
12	JK1VUZ/1	6		4		16	26

②2024年5月4日開催：第39回6mAMコンテスト規約

★主催：3エリア6mAMロールコール・グループ

★日時：2024年5月4日09:00-15:00

※バンドによって開催時間が異なる。詳細は【表1】参照

★周波数：28/50/144/430/1200MHz帯

★電波型式：AM (A3Eの全搬送波またはH3E)

★部門：28MHzの部、50MHzの部、144MHzの部、430MHzの部、1200MHzの部、マルチバンドの部

※同一局が複数の部門に書類を提出してもOK

※マルチバンド部門は、2バンド以上で参加した局の各バンド得点を事務局で合計する。ただし50MHz以外のバンドは得点を2倍にして計算する。

★呼出し：CQ AMコンテスト

★コンテストNR：RS+都府県地域NR+使用送信機名(例：FT817ND、IC9700、TS600改、自作)

★得点：異なる局との完全な交信を1点。自作機・改造機を使用して参加した局は完全な交信を2点

※2点になるのは自作機・改造機を使用した側だけ

★マルチ：全国の異なる都府県・北海道の地域数+異なる送信機数

※リニアアンプは付加装置とし、トランスバーターは送信機に準ずる。自作機の場合はどれも同じものはないとして全て数える。改造機もこれに準ずる

★賞：参加局数に応じて全国3位まで。またエリア毎に参加局数に応じて表彰

★各バンド得点：(得点の和)x(マルチの和)

★書類提出：(1)JARL制定のログ・サマリーシート又はこれと同型式のものを使用
(2)書類は部門ごとに分けて作成

(3)結果希望者はSASE同封

(4)電子メールによるログ提出もOK、フォーマットは提出先まで問い合わせること

★締切：2022年5月31日(消印有効)

★提出先：〒569-1123 大阪府高槻市芥川町1-2-A-3002 竹中信雄、
またはja3xqo@jarl.com

- ★注意事項：(1)改造機とは当該機種本来の発射可能な電波の型式、周波数の範囲及び変調方式、空中線電力のいずれかに変更を与える改造を行った送信機を指す。軽微な改造で送信出力を数倍程度変更したものは、審査において改造機と認定しない場合がある
- (2)自作機とは当該送信機の主要な部分以上を自作した機種を指す
- (3)改造機・自作機で運用した場合必ず書類提出時に送信機系統図を添付すること
- ★その他：(1)交信上の禁止事項、失格事項はJARLのコンテスト規約に準じる
- (2)各バンドごとに別の送信機を使用してもかまわないが、コンテスト中の送信機変更は不可
- (3)リニアアンプは送信機に含めないで注意(例：大阪府内からFT690+FL6010を使用して参加…RS+25+FT690)
- (4)送信機の名称はアルファベットまで完全に送信すること
- (5)メーカー製の送信機において、送信出力が異なるだけのモデルは別マルチとしてカウントしない(カウントできない例…FT857とFT857DM・IC575とIC575D、カウントできる例…IC706とIC706MK2G・FT817とFT817ND・FT991とFT991A)
- (6)サマリーシートには運用場所と使用リグ・アンテナ設備、特に移動局は明確に移動地点を書くこと
- (7)日本国内のどこかで特別警報が発令された場合、コンテストは中止とする
- ★問合せ：提出先までemail等で

【表1】6mAMコンテスト バンド別開催時間帯・使用周波数帯

バンド	開催時間帯	使用周波数帯	推奨使用周波数帯
430MHz	09:00-10:30	430.250-430.700MHz	430.400-430.500MHz
50MHz	10:00-14:00	50.350-50.990MHz	50.400-50.900MHz
28MHz	10:30-12:00	28.600-28.850MHz	28.700-28.850MHz
1200MHz	12:00-13:30	1294.200-1294.490MHz	1294.400-1294.490MHz
144MHz	13:30-15:00	144.250-144.490MHz	144.400-144.490MHz

